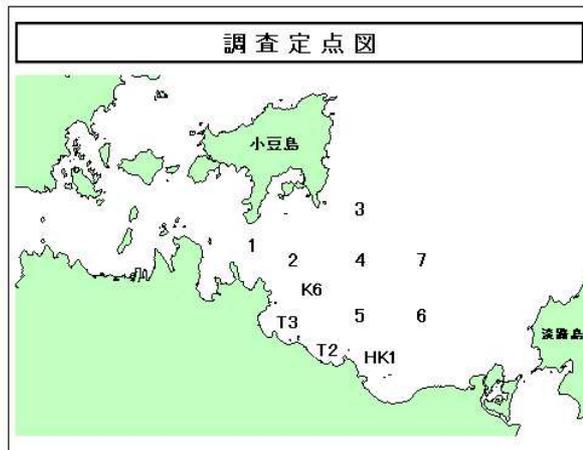


カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2015. 6-1号)

香川県水産試験場 龍満
TEL: 087-843-6511

調査日: 2015年6月2日
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

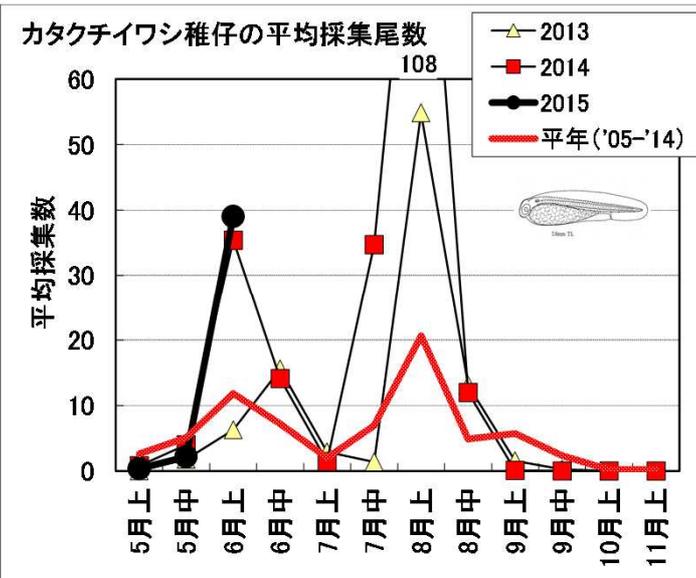
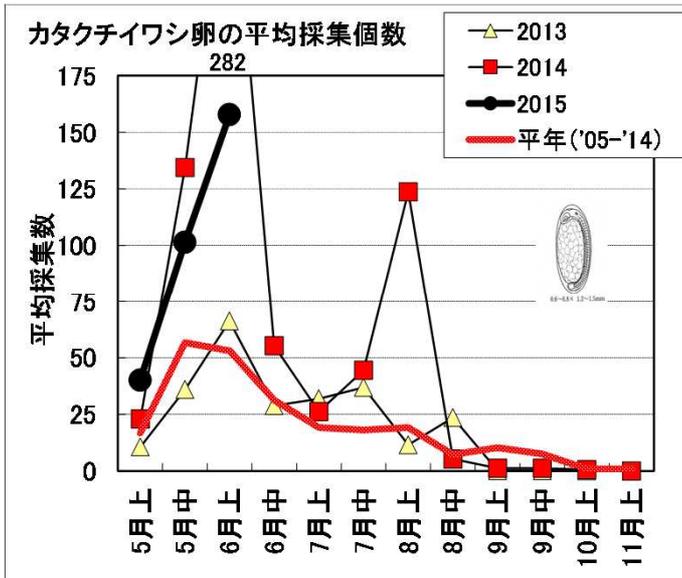


【カタクチ卵】 定点別出現数

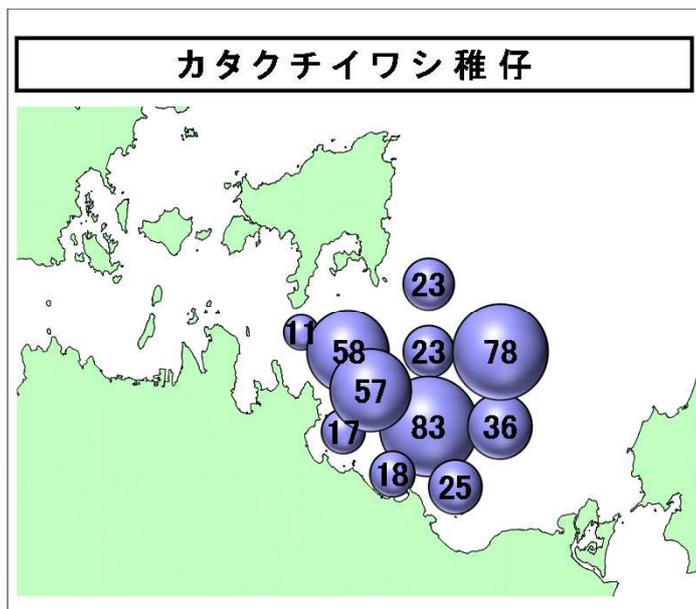
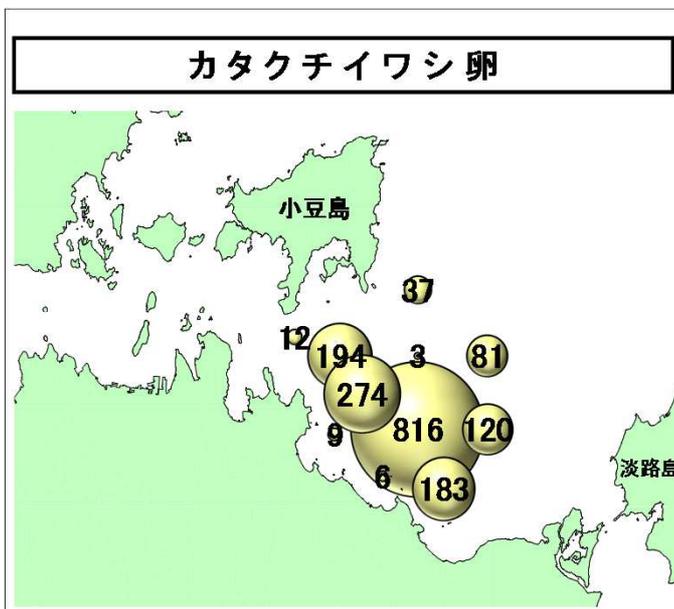
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2013.6.3	0	10	78	89	174	258	35	24	54	5	2	66.3
2014.6.3	42	149	244	545	1160	81	17	289	83	179	317	282.4
2015.6.2	12	194	37	3	816	120	81	183	6	9	274	157.7

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2013.6.3	0	6	2	1	16	38	2	1	3	0	0	6.3
2014.6.3	11	89	31	10	55	11	6	58	32	19	67	35.4
2015.6.2	11	58	23	23	83	36	78	25	18	17	57	39.0



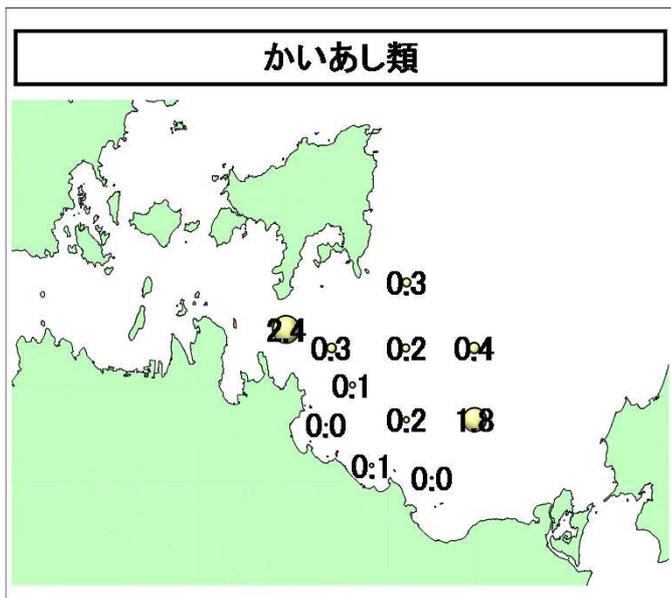
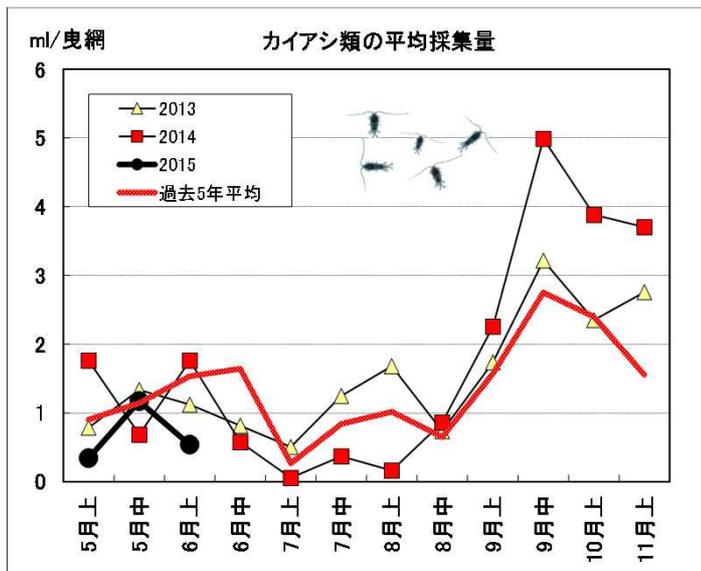
* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は157個と平年の3倍程度と多く、2005年以降で最も多かった昨年に次いで多い採集数となりました。また、稚仔の平均出現数も前年並みの39尾と、平年の同時期を大きく上回りました。卵は白鳥沖を中心に、稚仔は播磨灘の南西側(香川県寄り)に広範囲に分布していました。

餌料生物として重要なカイアシ類は、平年と比べ少な目ですが、プランクトン採集量に占めるノクテルカ(夜光虫)の割合が大きかった影響も考えられます。

【参考】



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は6月16日に実施予定です。